記者発表資料

平成２８年２月２６日
郡 山 国 道 事 務 所

右折レーン新設により追突事故及び右折事故が減少！
約９割の利用者が安全性を実感！
～　国道４号池西（いけにし）交差点改良による整備効果　～

国道４号「池西（いけにし）交差点」は、右折レーンが無いため、右折車両により直進車両が阻害され、追突事故等(１３件：過去４年)が発生している交差点です。
事故対策として、右折レーン及び右折導流標示の新設工事を実施し、平成２６年１２月２５日に完成・供用しました。
この度、供用１年後の交通状況調査を行った結果についてお知らせします。

◆右折待ち車両の滞留に伴う追突事故、交差点内の右折事故の発生件数がゼロ！
【対策前：約３件/年　→　対策後：０件/年】

◆前方車両への追突を回避しようとする「車線変更」、「減速」回数が大幅に減少！
【対策前：２７０回　→　対策後：４回】

◆約９割の利用者が安全性を実感！

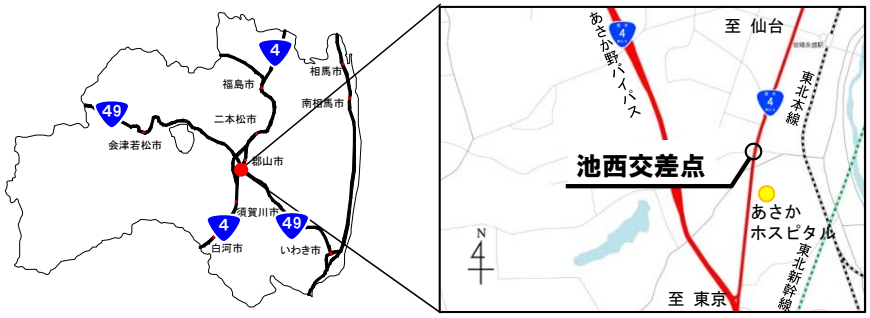
≪　発表記者会：郡山記者クラブ　≫

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　郡山国道事務所　　電話(代表)：024-946-0333
副所長（管理）　舟山（ふなやま）　義広（よしひろ）　(内線 205)
交通対策課長　土田（つちだ）　優（まさる）　(内線 471)

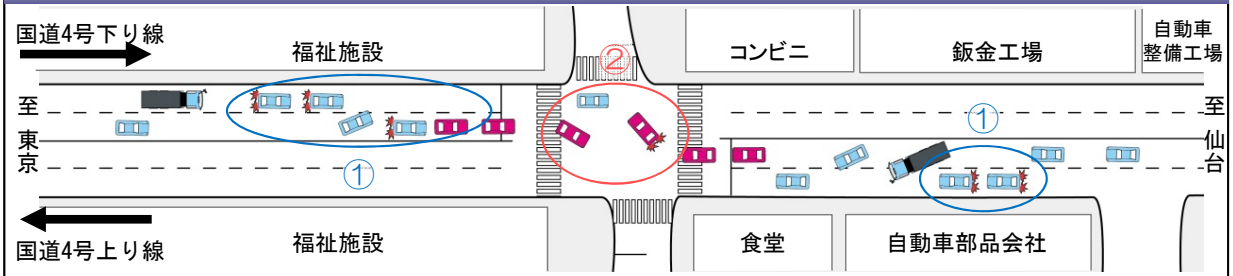
国道4号　池西（いけにし）交差点の事故対策（H26.12.25供用）

【 事業の効果 】　追突事故及び右折事故発生件数がゼロ、約9割の利用者が安全性を実感

位置図



現況データの分析



①.追突事故（9件/4年）
右折待ち車両の滞留に伴う追突事故が発生。

＋

②.右折事故（4件/4年）
右折車両の停止位置が不明確であり無理な右折に伴う右折事故が発生。

＝ 13件/4年

取り組み

右折レーン新設

右折導流標示新設

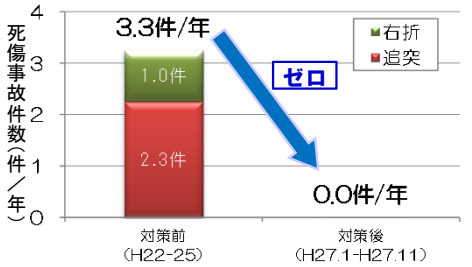
1．右折レーン新設：
右折車両と直進車両を分離（①②の対策）

2．右折導流標示の新設：
右折時の走行位置・停止位置を明確化（②の対策）

効果検証

◆事故件数の減少

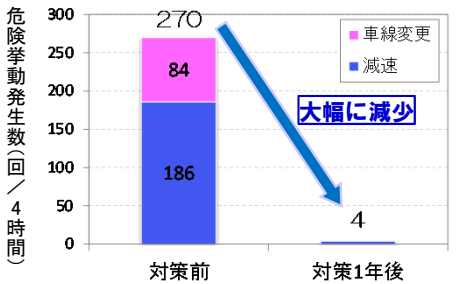
○ 追突事故、交差点内の右折事故の発生件数がゼロ。



資料：イタルダ交通事故データ（H22-25）、
県警事故原票データ（H27.1-11）

◆事故原因となる危険挙動の減少

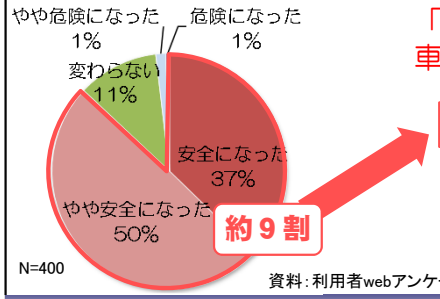
○ 車線変更、減速回数が減少。

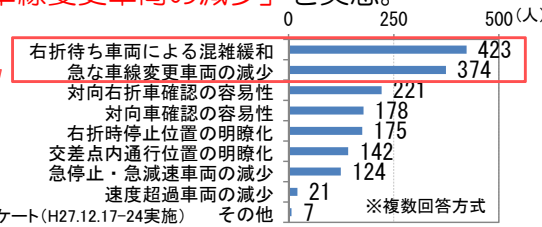


※車線変更：前方右折車両を避けることで危険を回避
※減　速　：前方車両の後続に減速・停止して危険を回避
資料：ビデオ撮影による危険挙動調査
（対策前H26.7.23、対策1年後H27.12.16）

◆利用者が安全性を実感

○ 全体の約９割が安全性を実感。具体的には、「右折待ち車両による混雑緩和」や「急な車線変更車両の減少」を実感。





資料：利用者webアンケート（H27.12.17-24実施）

今後の展開

経過観察により、引き続き、対策効果の確認を行います。